

背景

財政非常事態宣言

H20年、財政破綻の予備軍と呼べる財政健全化団体に転落。H25年度決算で脱却したものの、その後も積極的に財政再建や新たな財源の創出に取り組んできた。



現状の課題

肉・米・魚がない・・・

財源創出の一環として、ふるさと納税にも注力してきた。現在は総務省の地場産品規制基準を厳格に遵守する形で運用を行っているが、三種の神器と呼ばれる肉・米・魚が少ない為、新たな地場産品の開発が課題であった。



事業の目的

ないなら創る！！

常に新しい取組みに果敢にチャレンジするのが泉佐野市。商人の町大阪の文化でもあります。ないから諦める。のではなく、ほな創ったらええやん！という発想で、考え出したアイデアが本事業である。目的は**新たな地場産品の創出**で、この取組は同じ悩みを持つ他地域でも展開が可能です。



これまでの取組

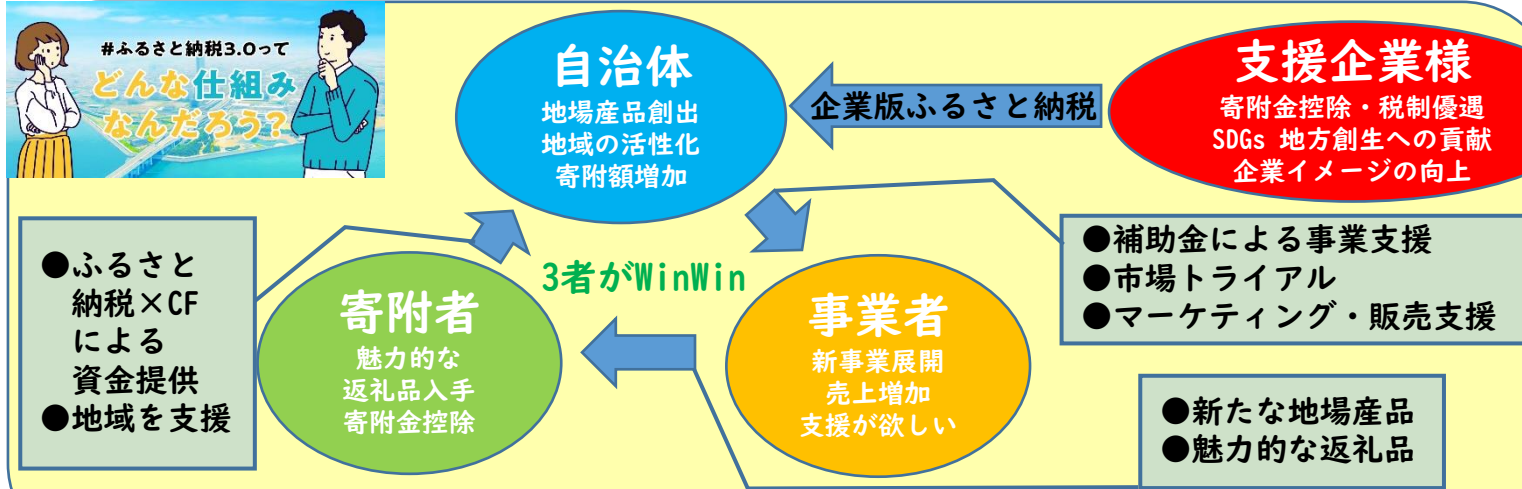
取組みを継続させる！

昨年（R2年）10月に「地場産品創出支援事業」をリリース。11月クラウドファンディング（以下、CF）を実施。年度末までに9つの地場産品創出プロジェクトが立ち上がりうち7つのプロジェクトが見事に目標を達成、合計で5億5千万円の資金調達に成功。現在も市内で事業を継続し地域を盛り上げる役割を果たしている。



事業内容

ふるさと納税×CFを活用した補助金制度を設け、企業や個人事業主を支援。本市へ誘致し、魅力的な地場産品を創り出し、支援頂いた寄附者に対し新たに創出された地場産品をお届けするという、新しいふるさと納税の仕組み。



3者がWinWinの関係 → 支援企業様を加えた4者がWinWinの関係へ

【「#ふるさと納税3.0」の取組みのポイント】

「参加者がWinWin」「事業者様と自治体の目線が同じ」

得られる成果等



【企業様のメリット】

- ・SDGs・社会貢献企業としてのPR効果
- ・本市との新たなパートナーシップの構築
- ・チャレンジングな企業イメージの醸成
- ・寄附を通じた「まちづくり」への参画

【企業様にご提供できるもの】

- ・寄附額に応じ、感謝状の進呈や本市の取組み (例：ふるさと納税への取組み、財政健全化等) の出張講演等のメニューをご用意しています。